

平成27年度 家族川柳入選作品



いつまでも、
家族なかよく
くらそうよ。
小学3年 男
いつまでも
言ってほしいな
その言葉・・・
母

おてっだい
いっぱいするよ
これからも
小学3年 女
遠くない
母の腕前
越える日も
母

毎日の
星座さがして
空見上げ
父
お父さん
八月生まれ
しし座だね
小学4年 女

れいぞう庫
頭つつこむ
何かない？
小学4年 男
なくせに
ジュースはためよ
ぎゆうにゆうよ！
母



朝早く
弁当作って
ありがとう
中学2年 男
内緒だよ
父より一品
多いのよ
母

お盆すぎ
暑さ過ぎさり
ひとだんらく
母
お盆すぎ
宿題たくさん
暑さます
小学1年 女

考える
今日は何を
話そうか
中学1年 女
どんなこと？
何でもいから
聞きたいな
母

志望校
目指す頂き
はるか高く
母
頂点を
目指す覚悟は
ほくにある
小学3年 男

お母さんの
おひざの上は
落ち着くな
小学3年 女
幸せと
体重の重み
感じます
母

小さな手
頼りにしてます
お姉さん
母
まかせてね
大きな手になる日
ちかいから
小学3年 女

母に言う
ばあちゃんの意味
まねしてよ
小学6年 女
ばあちゃんと
キャリアがちがう
おまけして
母

かがやきの
速さみたいに
走りたい
小学4年 男
頑張れよ
夢に向かって
輝いて
母

皆勤賞
目指す娘の
応援団
母
もらったら
母にもあげたい
感謝状
中学2年 女

かたときも
はずせないのが
ヘッドホン
中学2年 女
つこういい
親の小言は
耳に入らず
母

大会で
いつも届くよ
母の声
中学3年 男
おい息子
父の声は
届かぬか
父

しつこいが
その愛情が
大好きだ
中学3年 女
おせっかい
すぎる母を
ゆるしてね
母

その笑顔
夏の向日葵
顔負けね
母
ありがとう
私の笑顔は
母ゆずり
小学5年 女

気がつく
態度も体も
でかくなり
父
母に似て
態度も体も
でかくなり
小学6年 男

お母さん
おこつてばかりで
しわ増える
小学6年 男
出来るなら
増やしたいのは
笑いじわ
母



母の口
うるさい小言
飛んでくる
中学2年 女
母の愛
小言とらえる
まだまだね
母

さあ集中！
最後の一点
にぎる汗
母
決めてやる
最後の一点
絶対に
中学2年 男

夏祭り
大輪の花
夜に咲く
中学3年 女
本当だね
人生と同じ
生きざまだ
母

背がのびて
成績伸びるの
いつの日か
母
背が伸びて
もうすぐ成績
成長期
中学3年 男

お母さん
夏はどうして
きびしいの
小学5年 男
出来たよと
うれしい姿を
見たいから
母

ありがとう
はずかしいから
今言うね。
小学5年 女
うれしいわ
その一言に
ありがとう
母

夏花火
パツとひらいた
花のよう
小学6年 女
その笑顔
母にとつての
十尺玉
母

いまします
子どものいまは
かなりさき
母
はやくしろ
子どもの気持ち
はは知らず
高校1年 女

ラノベって？
最近ようやく
理解した
母
母さんが
僕らに少し
近づいた
高校1年 男

父さんの
料理がいちばん
だいすきだ
高校1年 女
母さんの
コロッケだけは
敵わない
父

練習着
いつも洗濯
ありがとう
高校2年 男
この黒さ
部活のすこさ
伝わるよ
母

お母さん
送り向かいを
ありがとう
高校2年 男
もうなれた
五人子供を
育てれば
母

お母さん
やさしい笑顔
あこがれる
小学5年 女
いつまでも
笑顔であなたを
見守るよ
母

母、残業
帰ると娘の
たまご焼き
母
作ったよ
教えてもらった
たまご焼き
小学5年 女

転た寝の
母に毛布を
ありがとう
母
つかれたら
休んでいいよ
お母さん
小学6年 男

そっけない
ラインの返事
母さみし
母
めんどくさい
年頃なんです
お母さん
高校1年 男

お母さん
なにか手伝い
しようかね
高校1年 女
あやしいな
おこづかいでも
ほしいのか
母

そろそろさ
肩もみ卒業
させてくれ
高校3年 男
それは無理
母の楽しみ
よろしくね
母

お母さん
いつもご飯を
ありがとう
高校3年 男
こちらこそ
お血洗いを
ありがとう
母

なぜなんだ
娘と妻は
スマホもつ
父
ガラケーで
節約してね
お父さん
高校4年 女

夏野菜
沢山食べて
大きくなれ
母
子供には
タンパク質も
必要だ
小学1年 男

イライラと
素直に言われん
反抗期
小学1年 男
イライラと
母もごめんね
更年期
母

親子だね
寝ているポーズ
一緒だよ
母
えーホント？
そんなところが
パパ似なの？
小学1年 女

親指す頂き
はるか高く
母
頂点を
目指す覚悟は
ほくにある
小学3年 男

お盆すぎ
暑さ過ぎさり
ひとだんらく
母
お盆すぎ
宿題たくさん
暑さます
小学1年 女

考える
今日は何を
話そうか
中学1年 女
どんなこと？
何でもいから
聞きたいな
母

志望校
目指す頂き
はるか高く
母
頂点を
目指す覚悟は
ほくにある
小学3年 男



小学生の部

中学生の部

- ・おやごころ いつもみまもる とうこうび 小学3年男 → がんばれよ 小さな背中に 願ひ込め 母
- ・おかあさん 頭につのが はえている 小学3年男 → 本当は 天使の羽根を 生やしたい 母
- ・お母さん え顔みてたら ほっとする 小学3年女 → あったかいね わらいごえが ひびくいえ 母
- ・お母さん いつもわがままで ごめんなさい 小学3年女 → いいんです あなたのわがまま かなえます 母
- ・お母さん けしょうでへんしん ごくろうさん 小学3年女 → 汗かいて 昼をすぎれば もとどおり 母
- ・クワガタとり 木をけるちは ちからもち 小学3年男 → 本当は 悲鳴あげてる 右足が 父
- ・たつきゅうで いつもつきあい ありがとう 小学3年男 → こちらこそ ほんとは楽しい ダイエット 父
- ・おばあちゃん しんせんやさい ありがとう 小学4年男 → やさいより 孫の成長 楽しみだ 祖母
- ・抱きしめる すぐに逃げてく 娘かな 父 → これでもね けっこうがまん してるのよ 小学4年女
- ・卓球で 一戦必勝 がんばるぞ 小学4年男 → 勝ち負けを 忘れ無心で 金星だ 父
- ・夏休み 宿題ばかりで いそがしい 小学4年男 → そうかしら 日焼けて顔が まっくらよ 母
- ・ドロドロの ユニホームみて おつかれさん 母 → ドロドロを いつもせんたく ありがとう 小学4年男
- ・腕ずもう 本気出さなきゃ 負けちやいそう 母 → お母さん 弱くなったね うでずもう 小学4年男
- ・これからも 長生きしてね お母さん 小学4年男 → それならば 母にもください 夏休み 母
- ・いつまでも まっていますよ おこづかい 小学5年女 → ばあちゃんも あなたがくれる日 待ってます 祖母
- ・孫のため 薪割り続ける 百までも 祖父 → じいちゃんに ストープ前で 感謝する 小学5年男
- ・支え合う 母のやくめを うけついで 小学5年女 → 教えるね 大人になるまで 少しずつ 母
- ・家族でね 夜空に咲いた 花火見た 小学5年男 → 夏の夜 家族の笑顔も 咲いてたね 母
- ・努力する 貴方の姿に 心打つ 母 → 実る花 苦しい先に きっとある 小学5年女
- ・おじいちゃん いつも見守り ありがとう 小学5年女 → 見守りの はずが今では 見守られ 祖父
- ・休みなし そんな母に マッサージ 小学5年女 → 寝る前の いやしの時間を ありがとう 母
- ・おじいちゃん 早く病気を 治してね 小学6年女 → 孫達の その一言で 頑張れる 祖父
- ・母親に 作ってあげたい 玉子焼き 小学6年男 → うれしいわ 二人で並ぶ 幸せ時間 母
- ・初得点 涙がでるほど うれしいな 小学6年男 → おめでとう 母も一緒に もらい泣き 母
- ・おばあちゃん 長生きしてね 百までも 小学6年男 → だいじょうぶ あんたの笑顔が 支える 祖母
- ・晩ご飯 とてもおいしく おかわりを 小学6年女 → 美味しいと 笑顔見たくて うでがなる 母
- ・父・娘 寝姿そっくり ほほえましい 母 → 川の字で ねむれる幸せ 安心家族 小学6年女
- ・宿題と 家族そろって 言わないで 小学6年男 → たまにはね 言わなくていい日 作ってよ 母

- ・側に居て 褒め声かけ ありがとう 中学1年女 → 指示をせず 母はあなたの 見守り隊 母
- ・コツコツと がんばる姿 自慢です 母 → うれしいな 日々の努力を 見てくれて 中学1年男
- ・お母さん 怒りのパワーは 人一倍 中学1年女 → このパワー あなたたちから もらってる 母
- ・時計より 大きな声で 起こす朝 母 → 母の声 今朝も元気に 目が覚める 中学1年女
- ・夏休み 練習きつくて 締まったね 母 → しまったか? 子どもの事より 自分から 中学1年男
- ・お母さん いつもお世話 ありがとう 中学2年男 → 将来は 逆にお世話 お願いね 母
- ・話すたび 素直になれない 口喧嘩 中学2年女 → 聞いたたびに 自分の口調 似てるかも 母
- ・夏休み 部活に勉強 がんばるぞ 中学2年女 → 夏休み 最初の意気込み 続かなか 父
- ・絶対に いつかはするよ 親孝行 中学2年男 → 君の夢 きっと叶う!!と 願う父 父
- ・母さんは 私の中の HEROだ 中学2年女 → すてきだね 誰にも負けない その笑顔 母
- ・母の背を 抜くが見えない 向こう側 中学3年男 → 当たり前 身長と経験 反比例 母
- ・激変の 夏にするため 猛勉強!! 中学3年男 → 「さあ やるぞ!」 言ったそばから もう休憩? 母
- ・部活との 別れで心に すきま風 中学3年男 → これからが 受験に向かって 正念場 母
- ・部が終わり 地獄の夏が やってきた 中学3年女 → 大丈夫 竹刀をペンに かえるだけ 母
- ・志望校 なかなかしぼれず 夏が過ぎ 中学3年女 → 母に似た 終わりよければ 総てよし 父



高校生の部



- ・いつのまに シャツの区別が なくなった 父 → いつまでも 子供扱い やめてくれ 高校1年男
- ・常日頃 チャンスを 得るのは 準備次第 父 → やってるよ いつも夢では 完璧さ! 高校1年男
- ・勉強で 父をぬくこと 今決めた 高校1年女 → 初耳だ 私の壁は 高いがな 父
- ・高校生 増える学費に 四苦八苦 母 → 卒業後 期待しててね 恩返し 高校1年男
- ・無理やりに 英語を使うが 理解不能 高校1年男 → 気分だけ 外国人に なりすまし 母
- ・またカレー? 私はそんなに 好きじゃない 高校1年女 → そうかいな 嫌いでなければ 大丈夫! 父
- ・高校の 思い出増えた 夏休み 高校2年女 → 心配で 白髪が増えた 夏休み 母
- ・笑顔はね 家族そろると 幸せだ 高校2年男 → おいしいよ その一言で うれしいよ 母
- ・夏休み バイト三昧 汗流す 高校2年女 → 寝顔を見て お疲れさまと 頬なでる 母
- ・ありがとう 口では言えない ありがとう 高校3年男 → ありがとう その気持ちこそ ありがとう 母
- ・あいさつは してもされても いい気持ち 高校3年男 → あいさつは 起きた朝から 家族から 母

羽咋市教育委員会と羽咋市家庭教育推進協議会、羽咋市少年育成センターでは、家庭での豊かな会話と子どもの健やかな成長を願い、「家族川柳」と題し、「子の句（初句）」とそれに返事を返す「親の句（返句）」を一組とする川柳を募集しました。川柳は、5・7・5の17文字の短い言葉で表現します。俳句と違い、季節などを入れる制約もありません。子どもたちを取り巻く全てのことを対象に、日常使っている言葉で素直に表現することで、自分の気持ちを伝えたり、お互いの気持ちを理解したり、家族のふれあいを築める目的で実施しました。

これは、たくさんの応募作品の中から入選作品・準入選作品をまとめたものです。どれもユーモアのある心温まる作品ばかりです。ぜひ一読ください。

【応募人数】小学生 634人、中学生 468人、高校生 401人（計）1,503人

【入選人数】各学年 5人（高校生については、2~4年生の合同）（計）45人

【準入選人数】各学年 5~7人（高校生については、2~4年生の合同）（計）54人

発行：羽咋教育委員会
羽咋市家庭教育推進協議会
羽咋市少年育成センター